

公開実用平成 4-15921

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-15921

⑤ Int. Cl.⁵

A 61 F 13/54
13/46

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成4年(1992)2月10日

8118-3B A 41 B 13/02
8118-3B

E
B

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全 頁)

⑥ 考案の名称 使捨ておむつ

② 実 願 平2-55759

② 出 願 平2(1990)5月28日

⑦ 考 案 者 山 本 陽 平 神奈川県横浜市港北区新羽町1050 株式会社資生堂研究所
内

⑦ 出 願 人 株式会社資生堂 東京都中央区銀座7丁目5番5号

⑧ 代 理 人 弁理士 清水 修

明 細 書

1. 考案の名称

使捨ておむつ

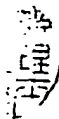
2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 液透過性の表面層と液不透過性の防漏層との間に吸収層を介装して吸収体を形成し、この吸収体の尻該当部を凹設して収納部を形成するとともに伸張状態に於ける吸収体の長手方向長さよりも短い有孔シートを、吸収体の長さ方向の両端部に固定して吸収体の表面を被覆し、吸収体の長さ方向の両端を、吸収体の表面層よりも外方に起立させ、有孔シートと吸収体の表面層との間に空間を形成した事の特徴とする使捨ておむつ。

(2) 有孔シートは、不織布で形成した事の特徴とする請求項1記載の使捨ておむつ。

(3) 有孔シートは、撥水性の素材で形成した事の特徴とする請求項1記載の使捨ておむつ。

(4) 有孔シートは、一つの孔の大きさを 2mm^2 ～ 100mm^2 で形成した事の特徴とする請求項1記載の使捨ておむつ。



3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は使捨ておむつに係るものであって、おむつ使用者の皮膚に軟便が付着する事によって生じる、皮膚のカブレ防止に有効なものである。

従来技術

従来、赤ちゃん等の被装着者におむつを装着すると、おむつの吸収体は被装着者に密接して装着されている。そしてこの装着状態で、おむつに軟便が排泄されると、被装着者の尻部と吸収体とは密接しているから、吸収体に溜まった軟便は、被装着者の尻部に多量に付着し、この軟便の付着によって、被装着者の尻部にカブレを生じる事が多いものであった。

考案が解決しようとする課題

本考案は上述のごとき課題を解決しようとするものであって、おむつ内に軟便が排泄された場合に、吸収体に溜まった軟便を被装着者の尻部から遠ざけて、皮膚のカブレ防止しようとするものである。

課題を解決するための手段

本考案は上述のごとき課題を解決するため、液透過性の表面層と液不透過性の防漏層との間に吸収層を介装して吸収体を形成し、この吸収体の尻該当部を凹設して収納部を形成するとともに伸張状態に於ける吸収体の長手方向長さよりも短い有孔シートを、吸収体の長さ方向の両端部に固定して吸収体の表面を被覆し、吸収体の長さ方向の両端を、吸収体の表面層よりも外方に起立させ、有孔シートと吸収体の表面層との間に空間を形成して成るものである。

また有孔シートは、不織布で形成しても良い。

また有孔シートは、撥水性の素材で形成しても良い。

また有孔シートは、一つの孔の大きさを $2\text{mm}^2 \sim 100\text{mm}^2$ で形成しても良い。

作 用

本考案は上述のごとく構成したものであるから、おむつを被装着者に装着するには、有孔シートを上面にして広げたおむつの尻側に、仰向け状態の

被装着者の尻部を載せる。そして腹側の吸収体を折り返して被装着者の背側に位置する吸収体と接着固定する。このおむつの装着状態では、被装着者の尻部に臨ませて吸収体の収納部を凹設して位置し、この収納部と尻部とが直接接触する事がないか、接触しにくいように吸収体の表面層と有孔シートとの間に空間部を設けている。このため被装着者から排泄された軟便は、有孔シートを通過し、空間部を経て吸収体に流下し、軟便は吸収体の収納部に溜まる。

このように排泄された軟便の多くは、吸収体に広がる事なく収納部に溜まり、有孔シートに少量残った軟便だけが被装着者の尻部に付着するだけであるから、従来の如く吸収体に溜まった軟便が、被装着者の尻部を大きく汚染するような事がなく、軟便の付着によるカブレを防止できる。

また有孔シートを、不織布で形成すれば、廉価で丈夫な材料による製造が可能となる。

また有孔シートを、撥水性の素材で形成すれば、有孔シートへの尿の吸着を防止でき、被装着者の

股部と接触する有孔シートにサラットした感触を与える事ができる。

また有孔シートの、一つの孔の大きさを $2\text{mm}^2 \sim 100\text{mm}^2$ で形成すれば、軟便是有孔シートを容易に通過して吸収体に流下する事が可能となり、被装着者の尻部に軟便が付着する事が少なくなるものである。

実施例

以下本考案の一実施例を図面に於いて説明すれば、(1)は吸収体で、液透過性の不織布等で形成した表面層(2)と、液不透過性のポリエチレンフィルム等で形成した防漏層(3)との間に、この表面層(2)および防漏層(3)よりも、小面積の液吸収性の吸収層(4)を介装している。また吸収層(4)の外周には、表面層(2)と防漏層(3)とからなるエンドフラップ(5)とサイドフラップ(6)を突出している。また尻側のサイドフラップ(6)の両側に止着テープ(7)を固定している。また被装着者の尻部に対応する吸収体(1)の一部には、吸収層(4)の厚みを肉薄に凹設して軟便の収納部(8)を

上述の如く構成したものに於て、おむつ(13)を被装着者に装着するには、有孔シート(11)を上面にして広げたおむつ(13)の尻側に、仰向け状態の被装着者の尻部を載せる。そして腹側の吸収体(1)を折り返し、止着テープ(7)を腹側の吸収体(1)の防漏層(3)外面に止着し、て被装着者

の背側に位置する吸収体(1)を、尻側に位置する吸収体(1)に固定する。このおむつ(13)の装着状態では、被装着者の尻部に臨ませて吸収体(1)の収納部(8)を凹設して位置し、この収納部(8)と尻部とが直接接触する事がないか、接触しにくいように、吸収体(1)の表面層(2)と有孔シート(11)との間に空間部(12)を設けている。このため被装着者から排泄された軟便は、有孔シート(11)を通過し、空間部(12)を経て吸収体(1)に流下し、軟便は吸収体(1)の収納部(8)に溜まるものである。またこの収納部(8)に溜まった軟便は、被装着者の尻部を汚染する事がなく、軟便の付着によるカブレを防止するものである。

考案の効果

本考案は上述のごとく構成したものであるから、被装着者におむつを装着すると、排泄された軟便の多くは、吸収体に広がる事なく収納部に溜まり、有孔シートに少量残った軟便だけが被装着者の尻部に付着するだけであるから、従来のごとく、軟便によって被装着者の尻部を大きく汚染するような

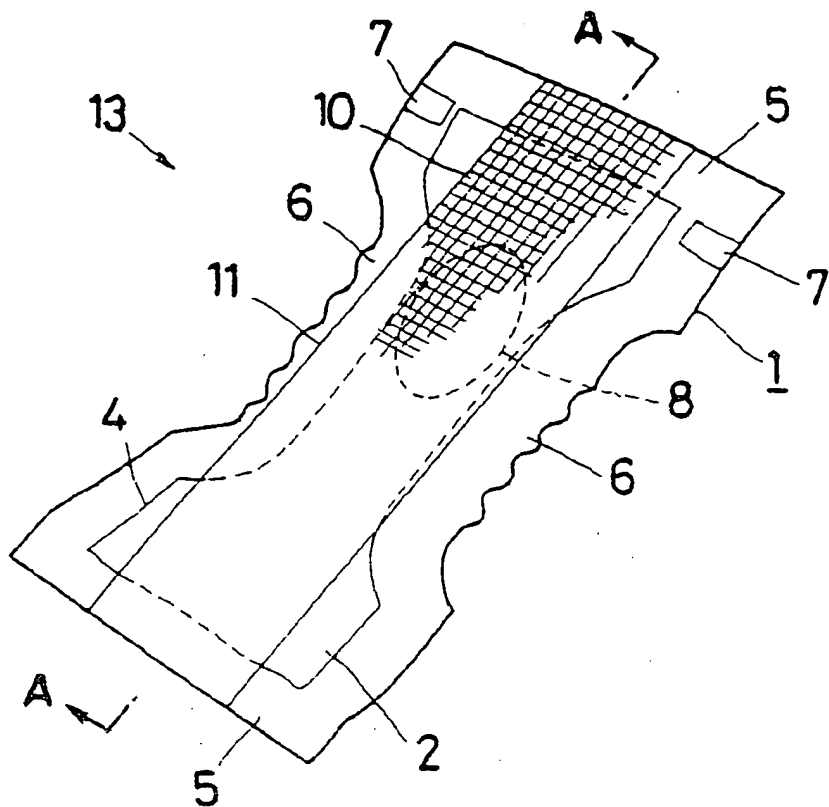
事がなく、軟便の付着によるカブレを防止できるものである。

4. 図面の簡単な説明

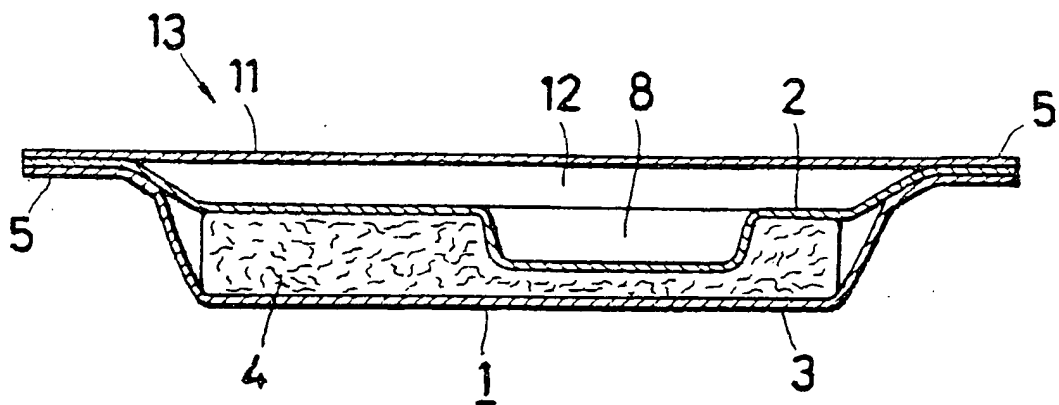
図面は本考案の一実施例を示すものであって、第1図は斜視図、第2図は第1図のA-A線断面図である。

- | | | | |
|----------------|-------|----------------|-----|
| (1) | 吸収体 | (2) | 表面層 |
| (3) | 防漏層 | (4) | 吸収層 |
| (8) | 収納部 | (10) | 孔 |
| (11) | 有孔シート | | |

第 1 圖



第 2 圖



234

牌理士 清水 修

笑開 4 - 15921